

富洲原中だより

富洲原中学校通信 No.15



令和7年6月23日

「だれか」のことを思う。それが、やさしさのはじまり。

この富洲原中だよりは、配付するときに教室で一緒に読んでください。

配付期間:6月23日(月)~27日(金)

みなさんは、「やさしさ」や「思いやり」って、どんなことだと思いますか？

- ・友だちにやさしくする。
- ・困っている人を助ける。

たしかにそれも大切な「やさしさ」です。

でも、もっとさりげなくて、まわりには見えないけれど、とても大切な思いやりもあります。

たとえば、

- ・ちょっと様子がいつもと違う人に「大丈夫？」と声をかけること
- ・話したがっている友だちの話を、急がずに最後まで聞いてあげること
- ・だれかが発言しようとしていたら、少し待ってみること
- ・だれかがいやな思いをしていたら、「それはおかしいよ」と言ってみること

こうした行動は、相手の気持ちに寄りそうことから生まれます。相手の立場になって考えてみるのが、「やさしさ」の第一歩です。

「見えにくい困りごと」に気づける人に

これまでの学校だよりで、マイクロインバリエーション、マジョリティ特権、合理的配慮などについて紹介してきました。これらに共通しているのは、「見えにくい困りごと」がある、ということです。

「だれか」にとっては気にならないことが、「べつのだれか」にはとてもつらいことかもしれません。

「だれか」が当たり前に行えることが、「べつのだれか」にとっては勇気がいることかもしれません。

そのことに気づける人でいてほしいと思います。

だれもが安心できる教室にするために

学校は、いろいろな人が集まる場所です。考え方、感じ方、得意なこと、苦手なことも、ひとりひとり違います。

だからこそ、だれかを「変だ」と思ったり、「おかしい」と決めつけたりせず、

「どうしてそう思ったのかな？」

「どうしたら安心して過ごせるかな？」

と考えられる、やさしいまなざしを持ってほしいのです。

「やさしさ」や「思いやり」は、特別なことではありません。毎日の学校生活のなかで、あなたにもできることが、きっとあります。

富洲原中学校が、だれもが安心して過ごせる場所であるように。

みなさん一人ひとりのやさしさが、学校をよりよい場所にしていきます。

この富洲原中だよりは、人権について考えるものです。
人権について考えるシリーズは、これからも発行していく予定です。
ご意見がありましたら、校長までお寄せください。

この富洲原中だよりの翻訳版は学校ホームページに掲載しています。QRコードからご覧ください。

The translated version of this Tomisuhara Junior High School newsletter is available on the school website. Please access it via the QR code.

La versión traducida de este boletín de la Escuela Secundaria Tomisuhara está disponible en el sitio web de la escuela. Por favor, acceda a ella a través del código QR.

यो टोमिसुहारा माध्यमिक विद्यालयको समाचारपत्रको अनुवादित संस्करण विद्यालयको वेबसाइटमा उपलब्ध छ। कृपया QR कोडमार्फत हेर्नुहोस्।

Phiên bản dịch của bản tin Trường Trung học Cơ sở Tomisuhara được đăng trên trang web của trường. Vui lòng truy cập thông qua mã QR.

富洲原中学校ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/~tomisu/cms2/htdocs/>

「学年・学校からのお知らせ」を選んでください。

Announcements from the School and Each Grade

Avisos de la escuela y por grado

कक्षा तथा विद्यालयबाट सूचनाहरू

Thông báo từ nhà trường và các khối lớp

